

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

基本方針

時代の要求に応じた新製品を創出・提供し、社会・文化の発展に貢献する。

売上高

21,100百万円

営業利益

1,800百万円

親会社株主帰属利益

800百万円

② 中長期の経営戦略

1. 新規高付加価値ワックス開発

研究開発費増額と外部機関との協業により新製品開発を加速。ライスワックスのサンプルワーク開始。

3. 財務体質の健全化

資本性劣後ローン残額の早期返済を目指し、財務基盤を強化。

2. 水系ワックスエマルジョン拡販

加工性に優れ環境に優しい製品をインキ・塗料、建材、加工紙用途等で展開。

4. 徳山工場の設備刷新

老朽化設備を解体・撤去し、新製品製造設備と生産効率向上設備を導入。

③ 対処すべき課題

① 新製品開発の加速

- 技術革新に対応した環境配慮型素材の研究開発。
- 外部機関との協業体制の構築と効率化。

② 財務体質の改善

- 資本性劣後ローン30億円のうち残額の期中返済実現。

③ 生産基盤の再編

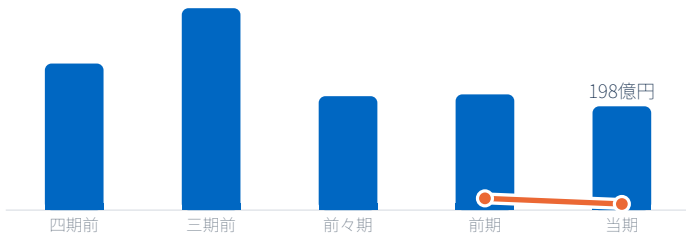
- 徳山工場の老朽化設備刷新による生産効率・品質向上。

面接で使えるポイント

- 国内唯一のワックス専門メーカーとして、ライスワックスや水系ワックスエマルジョンなど環境配慮型製品を開発中。
- 2026年度売上高21,100百万円達成を目指し、研究開発費を増額して新製品開発を加速。
- 徳山工場の老朽化設備刷新を進め、生産効率と品質向上に注力して競争力を強化。

証券コード 5010

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

ワックス製品の製造・加工・販売を主たる事業とする石油・石炭製品メーカー

主力事業・セグメント

・石油・石炭製品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・平均勤続18.0年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
198億円営業利益率
5.9%財務健康度
33点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 40.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
672万円

石油・石炭製品内 8位/9社

平均年齢
43.0歳

石油・石炭製品内 5位/9社

平均勤続
18.0年

石油・石炭製品内 2位/9社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本精蠟(株)【5010】：決算情報

